

エレガンス入門 中野香織著

上品さや優雅さを形容す

るエレガンスとは、元々はラテン語の「選び取る」という言葉に起源を有する。

エレガンスは「何かを持っているかどうか」ではなく、「どのように選び続けてきたか」の履歴となる。

誰もが憧れるエレガンスについて、本書はその歴史から現状までわかりやすく丁寧に解説してくれる。

エレガンスは生まれつき

備わる資質ではなく、各人が選び取り(選択)、それを過不足なく実行し(節度)、相手に対して入り込みも遠ざかりもせず(距離)、そのスタイルを持続していく(時間)ことによって手に入れられるのだ。

近世までそれは人間同士の暴力や衝突を倫理・儀礼・言葉・所作・装いへと巧

みに変換させ、近現代では同調と差異、誇示と隠蔽、階級と感性の緊張関係のなかで形成されていった。

本書では、宮廷文化からファッション、最高級車(ロールス・ロイス)まで幅広く扱うが、究極的にエレガンスとは、歴史と思想と経験のなかで磨かれてきた「よりよく共存するための知のフォーム」であるとの著者の言葉はまさに金言といえよう。(ちくまプリマ―新書、1034円)